

木野評論

1984
3月
No.15



表紙	金田辰弘	1
生と死	笠原芳光	1
物語の再生	鶴見貞子	10
——鏡花とディナーセン——		
『御伽人形』考	堤邦彦	21
——初期怪異小説のゆくえ——		
室町時代の朝鮮使節と京都	仲尾弘	43
透き通った窓ガラスのような散文	渡辺潤	64
——方法としてのオーウェル——		
シャルル・ルクル著		
『人間喜劇』の登上人物とその「系図」について (一)	中川恵三	84
イギリス巨大鉄鋼企業の設備近代化と労働・管理	長谷川治清	107
——英国鉄鋼公社・スカンソープ製鉄所の事例検討——		
福祉教育指定校・実態調査から	野上芳彦	124
——新しい教育の視点 (一)——		
朽木聞き書 (五)	京都精華大学 針畑生活資料研究会	152
——ワラと生活 (その三)——		
『翻訳』現代美術一〇〇年 (抄)	洪源出	173
男女平等への国内行動計画	金谷千慧子	195
朝鮮分断の過程	李景珉	219
——呂運亨・宋鎮禹にとつての8・15——		
M. A. K. Halliday の音韻論	原田弘	227
THE CHANGING WORLD VIEW OF JAPANESE YOUTH	日高六郎	242